

# 宣証 - Sensho -

このたびの台風19号の被害に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。  
被災された皆様が、一日も早く平常の生活に戻ることができますようお祈り申し上げます。

スタッフ一同

## ◆他者と人生を伴走するために

### 【寄り添うことへの取組には】

私は自分が出会った方々と人生を伴走できればと願っています。しかし、自分がどんなに伴走を願っても拒否されたなら成り立ちません。そこには相手方の気持ちが重要です。

なので良い伴走ができるためにも**適度な距離感**が大切だと考えています。例えば、夫婦の関係、親子の関係、兄弟の関係、親友など、どれをとっても「距離感」が違います。良い関係の距離感だと安心感を与え、信頼性も育みます。

一方で距離感を間違えますと不安と不信感を与え兼ねません。そして心には極度のストレスを与えてしまうのです。

被災地なら尚更この距離感は重要です。また人間関係の距離感は、避難所時と仮設住居時、復興時の全てに違いがあります。ましてや個人との関係であれば更に距離感は繊細である必要があります。

私にとって距離感とは相手を大切に思うものでした。しかし、時にそれは伝わらないことがあります。

距離感には**適切な言葉**も必要であることを悟りました。ですが、適切なことばを肝心な時に言えるとは決して限りません。予めイメージできる場面でもあれば準備して語りますが、大体がそうではありません。



落合復興住宅の方と一緒に

車で帰宅する間、反省と祈りをよく捧げました。「もう、見えない心には、見えない神様にお任せするしかない」という状態です。それが毎日でした。

「神は唯一です。神と人との間の仲介者も唯一であり、それは人としてのキリスト・イエスです。」（テモテへの手紙第一 2章5節）

## 【「お互い様」という言葉】

だからといって気遣いすぎても良くはありません。人間関係は**お互い様である**ことも大切だと言います。複数発生する人間関係ですと、残念ながら完璧に熟すことなど不可能であると思っています。なぜなら私たちは繊細な人間だからです。そしてそう容易く切り替えることができない心を持っているからです。

そこで決して「お互い様」を使って相手にも責任があると粗暴に扱うつもりではありません。やはり「お互い様」には距離感があって、相手への理解と敬いが重要であろうと考えます。そういった双方に向けてのお互い様です。

私は相手がどのような状況だとしても、**聖書で教えらる謙虚性を追従**しようと決めています。そのような思いを持った方との関係はどれほど豊かな関係を育むことでしょうか。またどれほどの幸せでしょうか。これを私は「御国の様」と言っています。また、そのような姿勢をさり気なく表現できることを**宣証**と言っています。宣証については次回のニュースレターにて詳しく文章にしたいと思っています。

謙虚を備えた関係構築は、クリスチャンだけに限った話ではありません。他宗教の方が私の身近にも多くおられます。私はそのような方から学び、習得したいとさえ思っています。相手に望む者ではなく、それどころかキリストの薫りを放つ者となるように努めたいものです。

## 【現地で起きている思いやり】

ボランティア活動を通して被災された方と友人となり、支援者ではなく友人として訪ねられる方が多くいます。ここにも寄り添う姿を見ることができま。それでお互いにどれだけ励まされることでしょうか。

S氏は私に言います。「昨日、久しぶりに遠い所からわざわざ訪ねて来てくれたのです。」

毎日、会っているわけではないのですが、特別な人が会いに来てくれたという表情や表現をされる姿に驚かされます。ついつい大声で「良かったですね」と肩に手を当て共に喜びます。

波瀾万丈な人生を送っている人には、そのことが何よりも励ましになるようです。ですから現場からの声で「忘れないで」というメッセージが発せられるのでしょうか。

**「すべての人との平和を追い求め、また、聖さを追い求めなさい。聖さがなければ、だれも主を見ることができません。だれも神の恵みから落ちないように、また、苦い根が生え出て悩ませたり、これによって多くの人が汚されたりしないように、気をつけなさい。」**（ヘブル人への手紙 12章14～15節）

文責：中澤 竜生

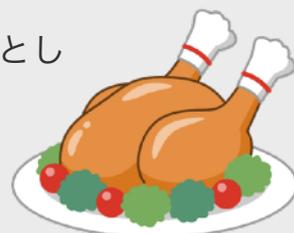
## － 今後の活動予定 －



11月24日（土）

クリスマスリース作りをします。今回は塩竈生協2階子ども食堂から始まり、12月中旬まで戸別訪問しつつ提供することを計画中です。

また、サンタプロジェクトの企画として、戸別訪問しコストターキーを届ける予定です。



## － 活動報告 －

### ●7月27日

落合市営住宅にて今年で4回目となる祭り支援を行いました。自治会を主体とした仙台明るい社会づくり運動と地域支援ネット架け橋の協働で滞りなく開催することができました。

今回は盆踊りに「ありがとう音頭」を取り入れました。この「ありがとう音頭」の実現のために、萩原ゆたか氏は約一ヶ月間練習して当日踊りの指導をしてくださいました。

夏祭り全体の音響は萩原正典氏の協力でなされ、踊りの賑わいに宣教師の4名が参加しました。

また、今年は子どもたちに花火ではなく、子ども向けのゲーム等を提供しました。



落合市営住宅に  
岩淵まことさんと由美子さんが  
訪ねてきてくださいました

### ●7月末～8月中旬

前区長佐藤氏を通してPTA主催で花火支援を行いました。南三陸町では志津川町旭ヶ丘は今年で8回目となります。その他に復興住宅地では三浦美香姉を通して約10名以上もの2～3歳児が集まりました。たまたまですが、外地からお嫁にいられた方々にとって交流・情報の場となったようです。

あとは私自身が訪問して母子家庭・父子家庭に花火を届けました。詳細はSolaのホームページにも記載されています。ぜひご覧ください。

### ●9月16日～23日

復興住宅地及び被災地にて秋のクラシックコンサートが開催されました。今回は南三陸町社会福祉協議会に協力していただき、開催場所を決め、仙台市の復興住宅に関わる方の紹介によって開催することができました。

今年で2回目となるFG-session2018のコンサートは参加された皆様に「贅沢な時間を過ごすことができた」と大変喜ばれました。会場全体の参加人数は286名にも上りました。

コンサート終了後、架け橋としてカフェを提供しました。また、結の里では社協の「えんがわカフェ」により、コーヒーなどの飲み物を100円で提供していただきました。



### ●9月24日

日本同盟基督教団新潟福音教会から下川羊和先生が来られ、共に被災地の視察と安否を問うに行きました。

### ●9月26日～29日

萱島キリスト教会から3泊4日の慰問旅行に参加した12名を迎えました。ご協力いただいた宮城宣教ネットワーク代表大友幸一先生、東北ヘルプ事務局長川上直哉先生、大川小学校語り部佐藤敏郎氏、気仙沼第一聖書バプテスト教会牧師嶺岸浩先生、放課後等児童ディサービス

「ホップ」施設員様、南三陸町志津川グランドゴルフ参加者様、さんさん商店街職員様、落合市営住宅自治会様、皆様に心から御礼申し上げます。



### ●10月

栃木県で収穫された野菜を提供していただきました。かぼちゃ、ばれいしょ、さつまいもなどです。早々に、前年もいただいた物を分けた渡波キリスト教会小澤倫平先生に届けました。後は南三陸町にお届けする予定です。長嶋氏、藤澤氏に心から感謝いたします。



### ●その他

その他の活動では「安否を問う」働きがあります。これらは皆様の尊い献金で成り立っています。いつもご支援と応援のお祈りに心から感謝を申し上げます。

私の体調も少しずつですが良い状態に向かっています。またお祈りいただきました中澤佳子の体調と精神も薬の調整をしつつ良い方向へと進んでいます。お祈りくださる皆様に重ねて感謝申し上げます。

## ◆会計報告

前回繰越金：228,874円

献金収入：659,750円（2019年7月26日11月8日）

ご献金を捧げてくださった団体様および個人様（敬称省略 順不同）

基督聖協団上田教会、大阪朝禱会有志、基督聖協団青梅教会、  
萱島キリスト教会（内子ども支援指定5万円）、魚住キリスト教会、金原雅子、清瀬グレースチャペル、  
佐藤由紀夫、日本イエス・キリスト教団京都聖都教会、基督聖協団相模原キリスト教会、  
基督聖協団信徒会、川上直哉、高原幸男、B.F.P.ジャパン、基督聖協団中川教会、都筑コミュニティ教会、  
基督聖協団西入間教会、基督聖協団八王子教会、船堀グレースチャペル、齋藤みや子、  
University United Methodist Church、NozomiMission、基督聖協団若潮教会、松丘ふさ子、  
練馬教会食堂、高原幸男、大場孝子、基督聖協団練馬教会、長嶋清、ユダカズコ、  
基督聖協団仙台宣教センター、Sola（花火支援指定5万円”済”）

献金支出：718,930円（2019年7月26日11月8日）

車両交通費：132,030円、事務費・通信費・DM：67,000円、啓蒙活動費：72,000円、  
追悼会活動費：20,000円、交流費：34,000円、慶弔費：10,000円、行事費・イベント等：80,000円、  
被災者支援費：15,000円、雑費：8,900円、スタッフ費：230,000円（5名）、花火支援費：50,000円、  
次回繰越金：169,694円（内子ども支援指定5万円）

## － お祈りのお願い －

この度は地域支援ネット架け橋のニュースレター「宣証」をお読みくださり、  
誠にありがとうございます。地域支援ネット架け橋の活動の主体である  
「宣証」を継続するために献金を必要とします。皆様にはこの活動費が満たされること、  
地域支援ネット架け橋の支援の輪がより広がること、現場において支援活動を継続する  
中澤竜生氏、佳子氏のためにお祈りくださいますようこれからもよろしくお祈り申し上げます。

### ■銀行振込

【銀行名】七十七銀行 宮城町支店  
【口座番号】普通 5497795  
【名義】キリスト聖協団西仙台教会かけはし会計 中澤佳子

### ■郵便振替

【ゆうちょ銀行口座名義】地域支援ネット架け橋（チイキシエンネットカケハシ）  
【店名】二二九店（ニニキュウ）（229）  
【口座の記号・番号】02290-3-141031  
【当座】0141031

■海外からのご支援  
PayPal（ペイパル）を利用す  
ることクレジットカードの使  
用が可能です。

【PayPal検索用アドレス】  
yoshiko.n36@gmail.com



■地域支援ネット架け橋の活動内容はこちらのHPから→ <https://www.kakehashi2013.com>

■お問い合わせはこちらのメールアドレスへ→ [kakehashi.net@gmail.com](mailto:kakehashi.net@gmail.com)

【事務局】地域支援ネット架け橋  
【電話】090-1069-3925  
【活動スタッフ】中澤竜生、中澤佳子、中澤祈恵

【所在】宮城県仙台市青葉区愛子東3-14-22  
【発行元】山形県天童市三日町二丁目6-14  
【事務スタッフ】中澤義道、中澤愛美